

# 経営トップと仲間たち

File 20



地域包括ケア病棟を担当する医師、看護師、リハビリスタッフ、MSWの若手スタッフと病棟運営について談笑する

## 人を大事にした魅力ある 職場づくりで選ばれる病院に

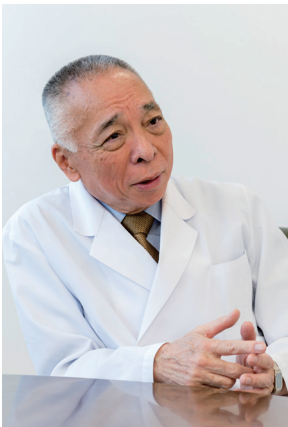
1 988年に外来・在宅医療を中心とした19床の有床診療所を皮切りに、2004年にはクローバーホスピタルを開院。その後、有料老人ホームや老人保健施設などを立ち上げ、現在では、法人全体でスタッフは500人規模となりました。

武田信玄の「人は石垣、人は城、人は堀」の言葉どおり、組織の安定と発展には人が欠かせませんが、医療・介護業界は人材不足です。病院開院当初、看護師の集団離職で大変苦労した経験もあり、働く人にとって魅力のある職場づくりを常に考えてきました。多様な働き方ができるような制度化し、子育てで時短勤務を選択する男性医師もいます。制度だけでなく、個々の働き方の選択を認められるような、スタッフの意識の変化が求められます。

組織として、風通しをどれだけよくするかも大事です。若手スタッフの声を中間層、トップが聞く耳を持つこと、医療の専門職としての一人ひとりのキャリアをいかに考えてあげられるかです。組織構成の「3対4対3の法則」を底上げにより、「3・5対4対2・5」にしていきたいと思っています。

患者さんだけでなく、地域の急性期病院から認められ、選ばれる病院をめざしています。当院は回復期が中心ですが、神奈川県藤沢市は回復期が集中する激戦区。いかに早く患者さんを受け入れ、在宅にスムーズに移行できるかが重要となります。このように、地域包括ケアシステムでは垂直連携から水平連携中心へのパラダイムシフトが起きていますが、その要を担うのもやはり人だと思っています。

医療法人  
篠原湘南クリニック  
篠原裕希 理事長



「さまざまな職種、年齢のスタッフとランチを食べながら気軽に話す機会をつくっています。フリートークから気づくことは多いですな」

医療法人篠原湘南クリニック  
クローバーホスピタル

2004年に高齢者医療、終末期医療に特化する病院として開院。在宅療養支援病院。170床(地域包括ケア病棟46床、回復期リハビリテーション病棟60床、医療療養病棟31床、特殊疾患病棟33床)